

履正社 柔整

『2025年、医療介護 75兆円に国家財政は持ちこたえるだろうか』

学科長 田中 雅博



こんにちは。新年おめでとうございます。改革準備の年であった昨年度から、今年は具体的なスケジュールが示され、来年4月の実施に向けて作業が行われるでしょう。**平成30年4月は医療介護同時改定の年**でもあります。すでに昨年、一昨年から次の同時改定は、かなり大きな改革、痛みを伴う改定が予想されており、表題にある国家財政健全化のために、人口の年齢構成比率の変化から生じたやむを得ない施策なのです。

とはいえ冒頭、強烈な印象を与えるテーマを上げてしまいましたが、実に医療介護だけで75兆円（うち公費負担は37兆円、現在より14兆円の増加）に耐えうるのか、**14兆円が現在より余計に必要**とされると考えると、どこからこの14兆円を調達するのか、税金増やすのか、国債発行するのか、そんなこと全く不可能な話して、他に方法は？ 今の私の能力では構想もありません。2025年まであと8年、歳出を削減するしかない、ただし

歳出のバランスを考えないと、破たんする産業がでてしまう。

そこで、全体のダメージを少なく考え、どこからいくら削るのか、その答えの一つに30年4月の医療介護同時改革があるのです。すでに始まっていますが、**入院から通院へ、入所から通所への在宅中心施策**。入院は急性期においても、平均在院日数を欧米並みに短縮する。ケースにもよりますが、具体的には現在の半分程度7日以下とする資料もあります。**例えば、虫垂炎(盲腸)3日で退院**、抜糸は通院でやりましょう、みたいなレベルです。それ以上に、医療イノベーションが本当に起こるんじゃないかと感じた講義を聴講しました。

大学院時代に恩師より、冗談のような将来像の講義を受けたことがあります。テーマは『2025年の医療介護の姿』だったか、少しあいまいな記憶で恐縮ですが、披露します。

『これからはビックデータを解析し、人口知能(AI)が世の中を動かす。医療(クリニック)は**コンビニの中のATMの隣の1室で、座ると体温と呼吸から生化学的な検査**ができる。その結果、必要ならば穴に指を入れて微量の血液を採取する。微量な採血ですみ、10分以内で結果がでる。必要な医療的指示が画面に表示され、それとプリントアウトして持ち帰る。薬は日々必要な疾患の必要な分量だけがでてくる。医療処理もビックデータの情報処理なのだから可能だ』と。介護は以下です。

『**AIを搭載した車の自動運転で、通所施設まで送迎**してくれる。施設内ではAIロボットが、食事を配膳、片付けも行う。集団体操やりハビリも担当する。動きはすべてデータで集積され、過去のデータと変化が見られたら、表示される。入浴も排泄もすべてロボットが誘導し、準備から片付け、始末まで行う。人手は現在の半分以下になる』と。

医療介護に従事する人材の確保は現在も困難であり、9年後に一層の人手不足が推測されている事情を考えると、急速に進展することが予想されます。

機械(ロボット)を使ったコスト削減はどの産業でも進んでいくでしょう。具体的な歳入手段が見いだせない中、歳出削減にどのような影響を与えるのか、

医療介護という生身の人間を相手にする産業においても、人の手で、また能力で対応するには限界が来ているのかもしれませんが、利権をもとに、それには危険性はないのか、悪化・重症化したらどうするのか、医療安全・患者安全を絶対視する団体の訴えも理解できますが、大多数はそれで処理できるのであれば、対象が人間であっても、**極わずかなケースを取り上げ、それを全体論とするにはもう無理があるでしょう、総論賛成各論反対の限界**です。とすると、**低価格で自然療法が得意な柔道整復師にも勝ち目がある**かもしれません。そのためにも**社会的制裁を受けるような行為・行動は現に慎まなければならない**は言うまでもないことです。謙虚に、まじめに研修に打ち込み、静かに待てば必要とされる時代が来ること、私は信じて疑いません。

<各学年の動き>

1年：後期試験が始まりますね。1年の集大成！？とは大げさですが、取りこぼしの無いようにしていきましょう！
2年生では海外研修がまっているよ。クラスみんな、試験突破！！助け合えるクラスにいきましょう。

2年：♪♪特別じゃない 英雄じゃない みんなの上には空がある 雨の日もある風の日もあるたまに晴れたらまるもうけ 振り向けば君がいる 前向けば友がいる 走って転んで寝そべてあたらしい明日が待っている 悩んでは忘れて忘れては悩んで あしたあさって しあさってあたらしい未来がやってくる♪♪♪「みんながみんな英雄より～A I」二十歳になりましたね！成人おめでとうございます。大人としての行動ができるように頑張ってください。4月からは3年生です！夢の実現に向かって努力しよう！！

3年生の君たちへ<番外編:君のケアレスミスを解決してみない!?!>

もうすぐ、3年生は国家試験、1・2年生は後期試験ですね。準備、対策はバッチリ?しっかり対策して臨もうね。

さて、試験に付きもの?!に「ケアレスミス」があるよね。「せっかく覚えていたのに~!」とか、「あ~勉強が無駄になった~。」とか、これまであまり良い思い出の無い「ケアレスミス」、皆さん過去に苦しんだ経験あるんじゃない?「あの時あの1点取ってたら、追試無かったのに...」「必修23点で不合格。あの読み間違えさえ無ければ...。」なーんて。**そんな貴方!このケアレスミス、ケアレスミスの根本的な原因を徹底追究し、ちょっとした訓練で解決できるかもしれないよ!!**

じゃあまず、皆さんのケアレスミス度チェックをしてみましょう。次のひらがなで書かれた文章をスラスラ、声に出して読んでみて。

「あきもふかまり たべものもおいくしなってきたこのきせつ
けんこうかんりに じゅうぶんちゅいうしてべんきょう がんばるぞ!」

一部の文字が逆さまになっていることに気づいて、書いてあるとおりに読めた? 書いてある通りに読めた貴方は集中力を切らず、ケアレスミスが少ない人。正しい文章に変換して読んでしまった貴方はケアレスミス要注意人物や。

学力と性格からケアレスミスのしやすさやタイプを判定してみよう。貴方は下の表のどこにあてはまるかな? 自分なりに思った番号を決めよう。学力と性格を過大評価したらあかんで。

学力と性格からケアレスミスのタイプを判定

判定

【①番】学力が高く、テキパキしている貴方は、「優等生」タイプ。

- ・ケアレスミスはあるものの、途中で気づくことができる。
- ・しかし、知識が多いため、集中力が切れると早とちりした答えを出してしまう。
- ・無意識に先生のことを『お母さん』と呼んでしまう

【②番】学力が高く、のんびりしている貴方は、「我が道を行く」タイプ。

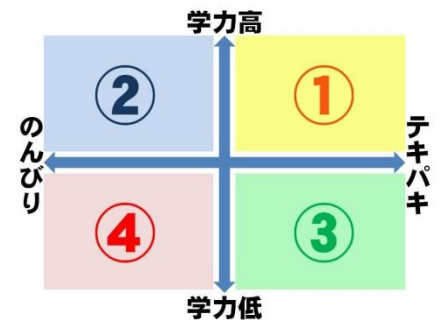
- ・ケアレスミスはあるが、無理はあまりしない
- ・しかし、試験時間が足りなくなると焦って、ミスが多くなりがち。
- ・「別に」とか「やっぱり」といった口癖がある貴方は要注意だ!

【③番】学力はちょっと自信が無く、テキパキしている貴方は、「おっちょこちょい」タイプ

- ・あわてんぼうで『ドジ』によるミスが多め。
- ・「問題をちょっと読んだだけで解き始めたり、答えが出ているのに違う答えを書いてしまったり、あわてた結果起きるミスが多い。
- ・「落ち着きが無いね」と人から言われる傾向がある。

【④番】学力はちょっと自信が無く、のんびりしている貴方は、「ぼんやり」タイプ。

- ・答えに必要な肝心なキーワードが抜けていたり、見直しせず失点するケアレスミスが多め。
- ・人の話を「なるほど」「へえ~」と言いながら、内容をほとんど覚えてない、ということがある。



ケアレスミスには「入力ミス」「油断ミス」「出力ミス」の3つの要因がある。ケアレスミスを生む三大要因の完全撲滅を目指そう!

問題

- ①ある長さの木を5メートル間隔に切り、長さがそろった木材を作ろうと思う。「1回切るのに3分、そのあと1分休憩」という作業を繰り返し、全て切り終えるのに19分かかった場合、最初の本の長さは何メートルだったか?
- ②単純な作業でミスを減らせるトレーニングにチャレンジ! 下の文章を、普通に話すスピードで間違わずに読んでみよう。

ねんがんのだいがくにごうかくし、わたくしのきゃんすぱらいふがすたーとした。
あたしらいともだちとであたうめ、さーくるにはいることをけつ。
えいごげきさーくるにはろいうと、ぶしつにむかうとだれもいなかった。
すると、となりのしれついなひとからこえをかけられ、ごういんなかゆんうをことわりき
れず、なぜか、おらわいさーくるにはいつてしまった。

解答

① A.30m これを25mとした人はいないだろうか。これを25mと答えた人は「入力ミス」

◆入力ミス: 問題文を十分に理解せず、解答に取りかかってしまうこと。家での勉強のように、冷静に解けば防ぐことができるケアレスミスが【入力ミス】なのだ。

入力ミスによるケアレスミスを防ぐ方法

- ・問題をしっかり読み、正確に理解してから解答を始めること。
- ・理解を助けるために、図にしたり、要点を書きだしたりすることが重要。

今回の問題では、5回切ったということは、1本5メートルだから、 $5 \times 5 = 25$ メートルだ!と早合点してない? 5回切ったということは、できた木材は6本。図を書いて考えるとケアレスミスが防げるよ。

②この文章は7箇所が逆さまになっている。慣れた日本語のため、勢いで読み飛ばして読めてしまう不思議な文章なのだ。
◆油断ミス: 集中力が切れた結果、起きてしまうのが、【油断ミス】だ。油断ミスによるケアレスミスを防ぐ方法、油断ミスを回避するのに必要なのは【丁寧さと慎重さ】だ。例えば、「誤ったもの」のところに波線を引く、2つ選べを○で囲む
丁寧さと慎重さをもって問題に取りかかれば、その結果、集中力をキープすることができ、【油断ミス】を減らすことができるぞ。

◆出力ミス: マークミスなど、解答用紙に答えを書き込む際のちょっとした手違いで、点数を失う後悔しか残らないミスが【出力ミス】だ。先輩たちも、この【出力ミス】の落とし穴ハマっていたぞ。

・1問1問塗りながら、後から解こうと思った問題も詰めて書いてしまい、ズレたまま解答してしまった。対処法としては、大問1問単位や10問毎など固まりで確認しながらそれをマークシートに写すやり方がオススメ。

・マーク1個を消そうとして、誤って隣り合ってるものも消してしまい、そのことに気づかないミスもある。

ケアレスミスは「心のスキ」。貴方も心の隙を突かれられないように、喝！

<タナカジャーナル>

『2025年が近づく、人口減少高齢社会の影響』

本号の冒頭でも触れたが、2025年の高齢社会の影響は、人口構成年齢の変動は医療費に多大な影響を与えるだけでなく、振り返ると他に様々な社会的出来事に関わっていることが見えてきた。**昨年夏の参議院選挙から18歳以上に選挙権が与えられたが、考えると、選挙権年齢を18歳としている国は世界の90%に及び、国際基準に見合う制度を求めたことである。**わが国で今回新たに選挙権を持つ年齢人口は240万人と言われており、若者の意見や主張を一層反映させることが重要であるとも述べている。しかし、深堀すると人口減少高齢社会が進み、20歳以上の年齢人口が比重し過ぎないように配慮した結果である。**年齢人口戦争(世代間戦争)**というもの聞いたことがあるだろうか。先の大阪都構想の大阪住民投票で負け、市長の橋下徹氏が政界を引退したが、その原因は世代間戦争で高齢者の意思が大きく反映された結果だと、多くが論評をしている。選挙年齢が18歳まで下がっていたら、結果は逆転していたであろう。

他にもある。**がん治療薬の『オプジーボ』の薬価が、官邸主導、異例の速さで半額**になったことは、製薬企業が驚愕した。現在、肺がん治療1人年間3500万円、がん患者5万人が使うと1.75兆円になる。一つの薬が占める割合からすると限界を超している。薬価が占める医療費の割合からすると抜本改革を行う必要がある。

最後に最大の関心事、**天皇陛下生前退位の議論**だ。天皇陛下は昨年8月7日、敗戦時の玉音放送以来、陛下自らのお言葉で国民に対し、思いを語られた。テレビでお姿を映され、思いをお話になるのは歴史上初めての事で、お言葉の中に、“体力の面から様々な制約”や、“身体の衰え”という表現をお使いになり、高齢者として当然伴う身体の変化をお言葉に含まれていたかと思う。

歴代の天皇陛下をはじめ、皇室の方々の平均寿命を研究したことはないが、ほぼ国民と同じ平均寿命が推移されておれば、当然、皇室も長寿となられており、陛下のこの度のお言葉も高齢社会がもたらした一つのあらわれであると、私は感じている。ただ、生前退位については、憲法との関係、上皇や摂政などを導入した際の皇室の在り方、またそうした際の天皇に求められる負担など、有識者16名の中でも9対7に意見が分かれ、会議の**御厨座長代理は『多数決ではなく比較しながら論点を整理しなければならない』**と慎重に結果をだした。

他にも社会的な課題は多くある。認知症に関することで、徘徊や事件を引き起こす事例が増加しており、また認知症高齢者の運転する車が暴走、高速道路の逆行の事故など、これまでにあまり見かけなかった出来事が頻繁にメディアで報道されているようになっている。

平均寿命の推移をみると、1947年には女53歳男50歳、1995年は女82歳男76歳、2015年は女87歳男80歳になり、急速な高齢社会がもたらす出来事を、具体的に誰も想定できなかったことは事実だ。まずは**国の制度的な枠組みを早急に整理し、時代や社会、環境、文明に応じた変革を行わなければならない**。それにより誰かに不便を強い、不利を与える、そうであっても国民全体の利益を考えると勇気をもって実行しなければならないだろう。先送りや時間的ゆとりはない。医療介護の世界だけでなく、**人口減少高齢社会が、わが国に何をもたらすのか、これから何が起こるのか、予測を十分行いそれに見合う対応が必要になることは言うまでもない。**

☆教務室からはみ出し寸言(今号からデビュー)☆

新聞や雑誌で目にとまった記事、誰かとの会話、まち角の看板、ネットの広告などから感動した、共感した、泣けた、じんときた、などのワードやセンテンスを紹介します。今回は田中の卒業アルバムから一つ。

『人生はかけ算だ。どんなにチャンスが回ってきても、君がゼロなら意味がない、今だよ、今やるんだよ』 あなたはど
うとらえますか。

< 語録「履正林」 >



1. 医療経済・職業倫理：

冒頭のテーマにも少し関係するが、平成 30 年 4 月の柔道整復師学校カリキュラム改正で新たな履修科目として取り入れることが決まっている。医療経済と職業倫理は少し解釈が異なるが、簡単に言うと医療倫理は医療産業という中でもお金の流れ。医療は現在 40 兆円産業、2025 年には 50 兆円産業ともいわれており、強烈な成長産業だ。しかし問題は公費が投入されていることが他の産業と異なる性格を持つ。職業倫理について、公益社団法人大阪府柔道整復師会の徳山健司会長は、先日本校の特別講義の中で、以下の例示で学生に教授してくれた。『みなさん、柔整の職業倫理とは自らが不適正な行動を起こすことはもつてのほかであるが、職業倫理を自覚するとは誘いを断る勇気だ。不正や悪を憎み、きっぱりと断ることだ』と。教務の T 先生は夜のとぼりが下りたら人格豹変するらしいが、徳山会長の教授を心にし、いかなる誘いでもきっぱり断る柔整師であってほしいと願う。

2. 要介護度改善率加算：

特定の疾患を除いて、医療報酬は DPC 病院を主に包括料金が設定されていることが多く、永遠に報酬を得られるものではない。したがって、一日も早く回復、改善そして退院し、新たな患者さんを受け入れたほうが収入は高い。しかし、現在の介護報酬は全く逆で、介護度が重くなるほど、手厚く入所や通所の期限もない。これも冒頭のテーマと関連するが、介護報酬体系に医療報酬の方針を取り入れたいが、介護は完全に回復し退所するケースは少ないし、様々なケースが想定されるが、改善率の加算で報酬が手厚くなるとの計画が出ている。しかし、通所などの回数制限や対処された人に受け入れも同時に確保しておかねばならず、家族のレスパイトケアも考慮しないとイケない。自宅に戻りたがらない T 先生のレスパイトケアの受け入れ先はネオン街なのだろうか。一度問い詰めてみたい。

3. 十三テイストは昭和から平成へ：

3 年近く前に火災で焼失した、阪急十三駅東口の赤ちょうちん界限。現在は新しゅんべん横丁の通行も再開され、周辺の飲食店が次々にオープンしてきた。しかし関東系のハイカラなチェーン店が進出してきたり、これまで十三カテゴリーになかった、牛タン店やイタメシ店ができて、十三トリス、焼き肉請来軒、十三屋、ふぐどんなど、昭和と平成のカルチャーが入り混じり、京都先斗町に負けないぐらいの、独特の雰囲気を醸し出している。登校時に、開店した新しいお店を一つ一つ品定めをし、物色している、教務の M 先生は、最近、健診で健康状態を指摘されているにもかかわらず、片っ端からすべての店をクリアする計画を立てているらしい。健診結果をもとに、M 先生の飲食行脚を認めるかどうか、一度職員会議で議論しなければならない。

4. 臨床実習指導者講習会：

平成 30 年 4 月の柔道整復師カリキュラム改正で、臨床実習が 4 単位 180 時間に増加した。

また、この度から臨床実習の指導者になるには、厚生労働省が規定した 16 時間の指導者講習会の受講を修了しなければならない。これは平成 29 年度中に実施される見通しだ。現在の履正社柔整の実習施設は富山から沖縄まで広範囲にあるが、遠隔地にある指導者にどうやってこの講習会を受講してもらうか、実習担当の T 先生が課題山積の中、現在検討調整している。同じ実習担当の M 先生は、『指導者講習会は、遠方であれば現地でやりましょう。近くで開業している卒業生も招待して、ご当地の産物でパーとやればどうですか』と、今からお祭りをやるかのような勢いで楽しみされている。苦勞が絶えない T 先生の思いを聞きたい。

5. 高校生ドラフト：

昨年姉妹校である、履正社高校初の投手として、寺島成輝君がヤクルトに指名され契約をした。ヤクルトの先輩には 2 年連続トリプルスリー達成の山田哲人君もいる。学園では、高校体育館で、国体優勝と明治神宮大会優勝の祝勝会を開催し、選手たちの労をねぎらった。二つの大会では、チーム編成が 3 年生から 2 年生へ移行したのに、同じ年に国体と明治大会で優勝するのは過去にないらしい。冒頭、釜谷行藏理事長が以下のあいさつをされたのが印象的であった。『国体優勝も偉業であるが、神宮大会で清宮率いる早稲田実業を破り全国優勝した。これからは大阪だけでなく、全国の学校が、打倒履正社がかかってくる。1 番を引きずり降ろそうとかかってくる。兜の緒を締めないと』と、心して拝聴した。しかしお言葉を聞いていたのか、この宴席に出席していた T 先生が、寺島とツーショットの写メをみている姿は、ぼくの宝物を隠す幼児期の行動を連想させる。

< やわらの窓口 >

頭脳派&体育会系&ロマン派諸君のために、成績不良、進学、受験（大学および大学院）、接骨院（経営コンサル）& デイ開業転職、恋愛&結婚、出産&子育て&介護保険まで、よろずのコンサル（RJOS）、24 時間 365 日窓口オープン。思い立ったが、次のアドレスへ、ゴーゴー、ヒューヒュー tanaka@riseisha.ac.jp まで